

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【公表番号】特表2010-515438(P2010-515438A)

【公表日】平成22年5月13日(2010.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2010-019

【出願番号】特願2009-545038(P2009-545038)

【国際特許分類】

C 1 2 M 1/26 (2006.01)

【F I】

C 1 2 M 1/26

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カートリッジホルダを有する自動画線機器のための画線アプリケータを保持および送出するためのカートリッジであって、

送出端、長手方向軸および細長い溝を有するケースを備え、前記送出端は、1つのアプリケータに前記ケースの外部から少なくとも部分的に接近可能であり得るアプリケータ送出位置を含み、前記カートリッジはさらに、

前記ケース内で長手方向移動させられ、アプリケータの積重ねを所持可能なアプリケータ支持部材を備え、

前記細長い溝は、前記カートリッジが前記カートリッジホルダ内にあるときに付勢部材を動作可能に受けて、前記支持部材を前記送出端に向けて促し、アプリケータを前記送出位置に促すことができる、カートリッジ。

【請求項 2】

前記ケースは矩形断面を有して全体的に円筒形であり、4つの側壁、底部壁および頂部壁を有する、請求項 1 に記載のカートリッジ。

【請求項 3】

前記頂部壁は前記送出端を部分的にしか被覆しておらず、

前記頂部壁には、使用時、前記画線機器の画線装置が前記送出位置にあるアプリケータに接近して掴むことができるようにするための少なくとも1つの開口がある、請求項 2 に記載のカートリッジ。

【請求項 4】

前記頂部壁は、使用時、前記送出位置にあるアプリケータが通過して前記画線装置によって前記カートリッジから送出され得る少なくとも1つの他の開口を含む、請求項 3 に記載のカートリッジ。

【請求項 5】

前記頂部壁は上部のアプリケータ掴み開口および側部のアプリケータ送出開口を含み、

前記掴み開口は、使用時、前記送出位置にあるアプリケータの少なくとも装着部を見せるようにサイズ決めされ、

前記送出開口は、使用時、当該アプリケータが前記アプリケータの積重ねから横滑りして、前記送出開口を通して前記カートリッジの外に出ることができるようにサイズ決めさ

れる、請求項 2 に記載のカートリッジ。

【請求項 6】

前記頂部壁はアプリケーションの形状と一致するように構成されているため、使用時、前記積重ねの一番上のアプリケーション（前記送出位置にあるアプリケーション）は、前記付勢部材に促されることによって前記頂部壁の下側に当接し、この位置において当該アプリケーションの前記装着部に前記掴み開口を通して接近可能であり、当該アプリケーションは前記送出開口を介して取出し可能である、請求項 2 から 5 のいずれか 1 つに記載のカートリッジ。

【請求項 7】

前記アプリケーション支持部材は断面が矩形であり、前記ケース内で摺動するようにサイズ決めされる、請求項 1 から 6 のいずれか 1 つに記載のカートリッジ。

【請求項 8】

前記支持部材は、自身の 2 つの対向面に、ラチェット型の弾性的に付勢された係合部材であって、前記ケースの前記側壁のうち 2 つの対向内面に沿った一連の対応する支台に係合可能な係合部材を含む、請求項 2 に従属する請求項 7 に記載のカートリッジ。

【請求項 9】

前記支台が前記係合部材に係合すると、前記カートリッジホルダの前記付勢部材による前記送出端に向けた促しを受けて、前記支持部材は前記ケースの前記送出端に向かう一方向のみに移動可能である、請求項 8 に記載のカートリッジ。

【請求項 10】

前記付勢部材は、前記カートリッジホルダのハウジングの内部に少なくとも部分的に構成される付勢された支台であり、前記支台は、使用時、前記カートリッジの前記細長い溝の内部に嵌合し、かつ前記細長い溝によって受けられるようにサイズ決めされ位置付けられる、請求項 1 から 9 のいずれか 1 つに記載のカートリッジ。

【請求項 11】

前記細長い溝は、前記ケースに沿って長手方向に配置される、請求項 1 から 10 のいずれか 1 つに記載のカートリッジ。

【請求項 12】

前記溝は前記ケースの前記側壁の 1 つに沿って長手方向に配置され、前記ケースの前記底部壁に延在して、使用時、前記カートリッジが前記ハウジングに滑り込むと前記付勢部材が下から前記溝の内部に接近できるようにする、請求項 2 に従属する請求項 11 に記載のカートリッジ。

【請求項 13】

カートリッジホルダを有する自動画線機器のための画線アプリケーションを保持および送出するための装填済カートリッジであって、

送出端、長手方向軸および細長い溝を有するケースを備え、前記送出端は、1 つのアプリケーションに前記ケースの外部から少なくとも部分的に接近可能なアプリケーション送出位置を含み、前記カートリッジはさらに、

アプリケーションの積重ねを所持し、前記ケース内で長手方向移動させられるアプリケーション支持部材を備え、

前記細長い溝は、前記装填済カートリッジが前記カートリッジホルダ内にあるときに付勢部材を動作可能に受けて、前記支持部材を前記送出端に向けて促し、アプリケーションを前記送出位置に促すことができる、装填済カートリッジ。

【請求項 14】

前記ケースは矩形断面を有して全体的に円筒形であり、4 つの側壁、底部壁および頂部壁を有する、請求項 13 に記載の装填済カートリッジ。

【請求項 15】

前記頂部壁は前記送出端を部分的にしか被覆しておらず、

前記頂部壁には、使用時、前記画線機器の画線装置が前記送出位置にあるアプリケーションに接近して掴むことができるようにするための少なくとも 1 つの開口がある、請求項 14 に記載の装填済カートリッジ。

**【請求項 16】**

前記頂部壁は、使用時、前記送出位置にあるアプリータが通過して前記画線装置によって前記カートリッジから送出され得る少なくとも1つの他の開口を含む、請求項15に記載の装填済カートリッジ。

**【請求項 17】**

前記頂部壁は上部のアプリータ掴み開口および側部のアプリータ送出開口を含み、前記掴み開口は、前記送出位置にあるアプリータの少なくとも装着部を見せるようにサイズ決めされ、

前記送出開口は、使用時、当該アプリータが前記アプリータの積重ねから横滑りして、前記送出開口を通して前記カートリッジの外に出ることができるようにサイズ決めされる、請求項14に記載の装填済カートリッジ。

**【請求項 18】**

前記頂部壁はアプリータの形状と一致するように構成されているため、前記積重ねの一番上のアプリータ（前記送出位置にあるアプリータ）は、使用時、前記付勢部材に促されることによって前記頂部壁の下側に当接し、この位置において当該アプリータの前記装着部に前記掴み開口を通して接近可能であり、当該アプリータは前記送出開口を介して取出し可能である、請求項14から17のいずれか1つに記載の装填済カートリッジ。

**【請求項 19】**

前記アプリータ支持部材は断面が矩形であり、前記ケース内で摺動するようにサイズ決めされる、請求項13から18のいずれか1つに記載の装填済カートリッジ。

**【請求項 20】**

前記支持部材は、自身の2つの対向面に、ラチェット型の弾性的に付勢された係合部材であって、前記ケースの前記側壁のうち2つの対向内面に沿った一連の対応する支台に係合可能な係合部材を含む、請求項14に従属する請求項19に記載の装填済カートリッジ。

**【請求項 21】**

前記支台が前記係合部材に係合すると、前記カートリッジホルダの前記付勢部材による前記送出端に向けた促しを受けて、前記支持部材は前記ケースの前記送出端に向かう一方向のみに移動可能である、請求項20に記載の装填済カートリッジ。

**【請求項 22】**

前記付勢部材は、前記カートリッジホルダのハウジングの内部に少なくとも部分的に構成される付勢された支台であり、前記支台は、使用時、前記カートリッジの前記細長い溝の内部に嵌合し、かつ前記細長い溝によって受けられるようにサイズ決めされ位置付けられる、請求項13から21のいずれか1つに記載の装填済カートリッジ。

**【請求項 23】**

前記細長い溝は、前記ケースに沿って長手方向に配置される、請求項13から22のいずれか1つに記載の装填済カートリッジ。

**【請求項 24】**

前記溝は前記ケースの前記側壁の1つに沿って長手方向に配置され、前記ケースの前記底部壁に延在して、使用時、前記カートリッジが前記ハウジングに滑り込むと前記付勢部材が下から前記溝の内部に接近できるようにする、請求項14に従属する請求項23に記載の装填済カートリッジ。

**【請求項 25】**

画線アプリータを保持および送出するための装填済カートリッジを自動画線機器のカートリッジホルダに接続するためのシステムであって、

付勢部材を有するカートリッジホルダと、

送出端、長手方向軸および細長い溝を有するケースを有する装填済カートリッジと備え、前記送出端は、1つのアプリータに前記ケースの外部から少なくとも部分的に接近可能であり得るアプリータ送出位置を含み、前記カートリッジはまた、アプリータの積

重ねを所持するアプリケーション支持部材を含み、前記支持部材は前記ケース内で長手方向移動させられ、

前記細長い溝は、前記カートリッジが前記カートリッジホルダ内にあるときに付勢部材を動作可能に受けて、前記支持部材を前記送出端に向けて促し、アプリケーションを前記送出位置に促すことができる、システム。

【請求項 26】

前記カートリッジホルダは、内部にカートリッジを受けるよう、内部に前記カートリッジを密接に嵌合させて摺動可能に受けるように構成されサイズ決めされるハウジングを含む、請求項 25 に記載のシステム。

【請求項 27】

前記ハウジングは、自身の内部にまたは自身の一部として前記付勢部材を含む、請求項 26 に記載のシステム。

【請求項 28】

前記ハウジングはまた、前記カートリッジホルダ内にあるときの前記カートリッジに解放可能に係合して前記カートリッジを所定の位置に固定するカートリッジロックを含む、請求項 25 から 27 のいずれか 1 つに記載のシステム。

【請求項 29】

前記カートリッジのハウジングは、内部に前記カートリッジが収容されると、前記カートリッジの前記アプリケーション送出位置に前記画線機器の画線装置によって接近できるように構成され方向付けられる、請求項 26 に記載のシステム。

【請求項 30】

前記ハウジングは、内部に前記カートリッジを受ける内部を規定する 4 本の隅柱からなる直立フレームによって提供される、請求項 26 に記載のシステム。

【請求項 31】

画線アプリケーションを保持および送出するための装填済カートリッジを自動画線機器のカートリッジホルダに接続するためのシステムであって、

付勢部材を有するカートリッジホルダと、

請求項 13 から 24 のいずれか 1 つに記載の装填済カートリッジとを備える、システム

。